

大阪経済の情勢

(平成27年2月指標を中心に)

平成 27 年 4 月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、一部に弱さが残るものの、 緩やかな回復基調が続いている」

需要面では、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(1月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少した。公共投資は減少。輸出は、緩やかに改善している。輸出額は24ヶ月連続で増加。主要国向けではアジア、EU、アメリカ向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの増加。取扱貨物量は、関空で増加。

供給面では、生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(1月)は、生産、出荷とともに上昇。近畿の生産(1月)は上昇、全国の生産(2月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫増局面。雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(1月)は減少。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。

先行きでは、景気動向指数(先行)は上昇。今後は、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
	総合	消費				投資		貿易・貨物	
	一致CI(大阪)	大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(近畿)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空取扱貨物量
2月	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↑
1月	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↑	↑

		供給				その他
	生産	雇用		倒産	観光	
	生産指数(大阪)	生産指数(全国)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)	倒産件数*(大阪)	関空外国人旅客
2月	↑	↓	↑	↑	↑	↑
1月	↑	↑	↑	↑	↑	↑

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

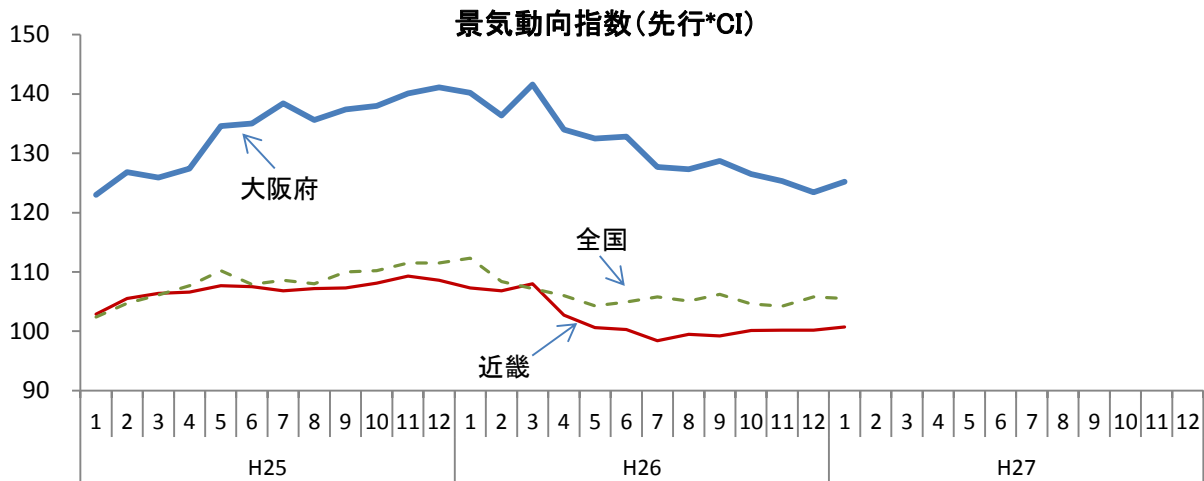
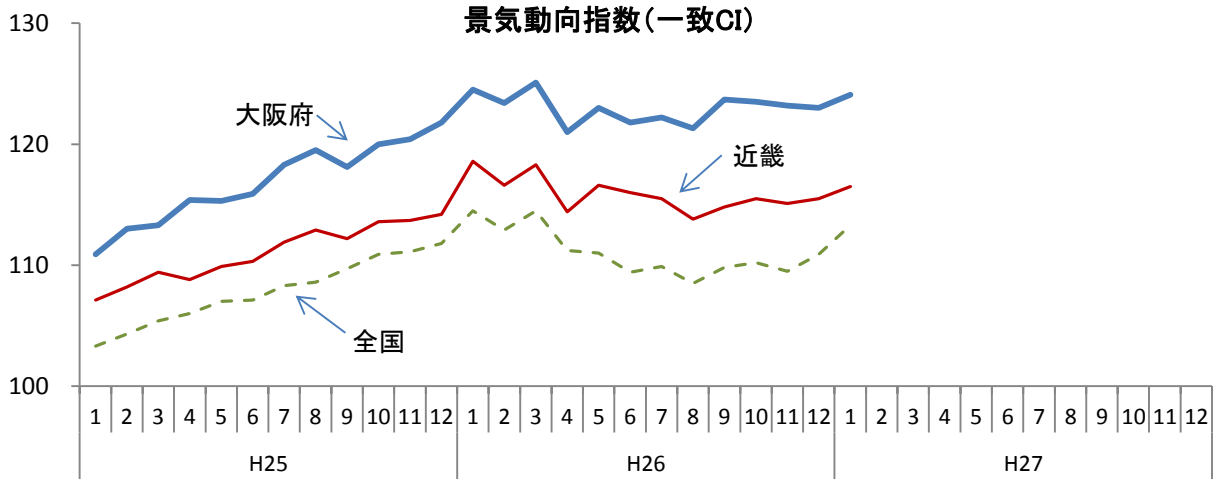
(参考)他機関の総括判断

	前回(27年2月公表分) (26年12月指標中心)	今回(27年3月公表分) (27年1月指標中心)
内閣府「月例経済報告」	景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに改善しつつある。	近畿地域の経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店「近畿地域金融経済概況」	近畿地域の景気は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては緩やかに回復している。	近畿地域の景気は、回復している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(1月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」、「生産財出荷指数」、「関西大口電力使用量」が上昇に寄与。近畿(1月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。全国(1月)の一致CIは上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」
 ※ 先行 CI は、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致 CI

H22=100	26年12月	27年1月	2月
大阪府	123.0	P 124.1	
近畿	115.5	P 116.5	
全国	110.9	113.3	

先行 CI

H22=100	26年12月	27年1月	2月
大阪府	123.4	P 125.2	
近畿	100.2	P 100.7	
全国	105.8	105.5	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、27年1月速報)

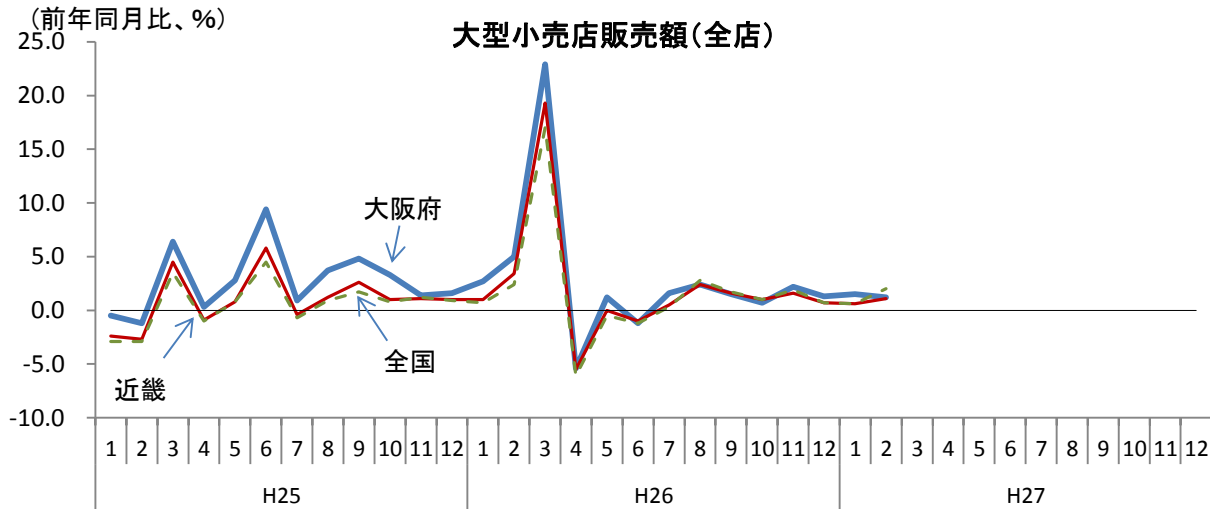
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	関西大口電力使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
0.00	▲0.38	0.60	0.51	0.50	▲0.04	▲0.09

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(1月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。

○大型小売店販売額(全店)【8ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

大型小売店販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
販売額 (億円)	大阪府	1,987	1,531	P 1,327
	前年比 (%)			
	大阪府	1.3	1.5	P 1.2
前年比 (%)	近畿	0.7	0.6	P 1.1
	全国	0.7	0.6	P 2.0

百貨店販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	大阪府	1.8	1.4	P 0.8
	全国	0.2	▲0.9	P 2.9

スーパー販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	大阪府	0.8	1.5	P 1.6
	全国	1.1	1.4	P 1.6

家電大型専門店販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	大阪府	—	▲7.4	P ▲10.6
	全国	—	▲11.6	P ▲15.3

ドラッグストア販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	大阪府	—	15.5	P 22.6
	全国	—	3.1	P 5.1

ホームセンター販売額(全店)

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	大阪府	—	▲4.8	P ▲4.2
	全国	—	▲6.1	P ▲3.6

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は23ヶ月連続の増加。】

		26年12月	27年1月	2月
販売額(億円)	近畿	1,351	1,234	P 1,149
前年比 (%)	近畿	6.5	7.0	P 5.4
	全国	5.6	6.2	P 5.1

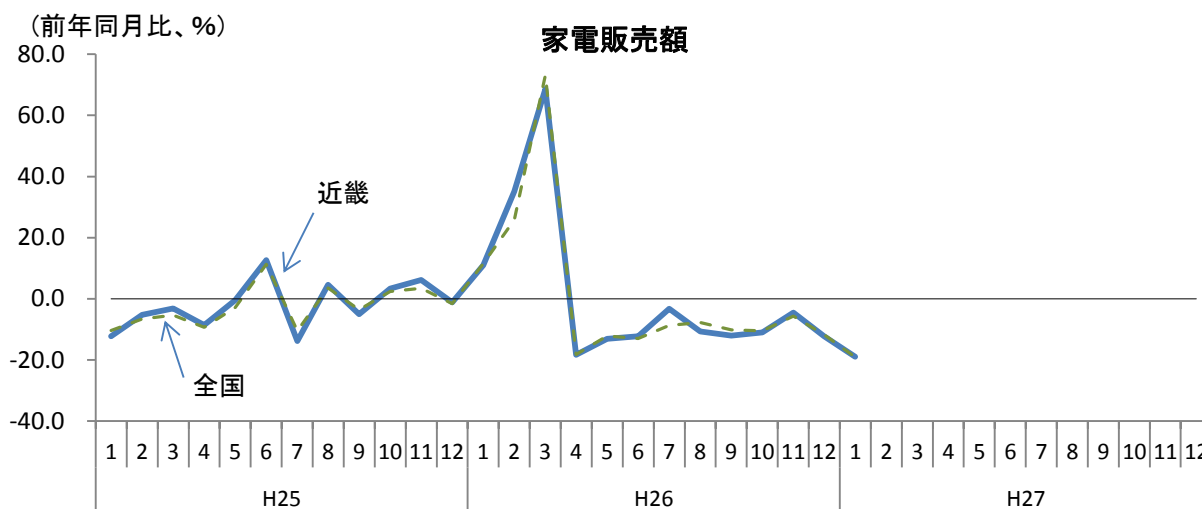
○家計消費支出【近畿は2ヶ月連続の減少。】

		26年12月	27年1月	2月
円	近畿	342,340	283,087	267,719
前年比 (%)	近畿	3.0	▲4.4	▲1.6
	全国	9.5	0.6	▲3.2

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【近畿(1月)は10ヶ月連続の減少。】

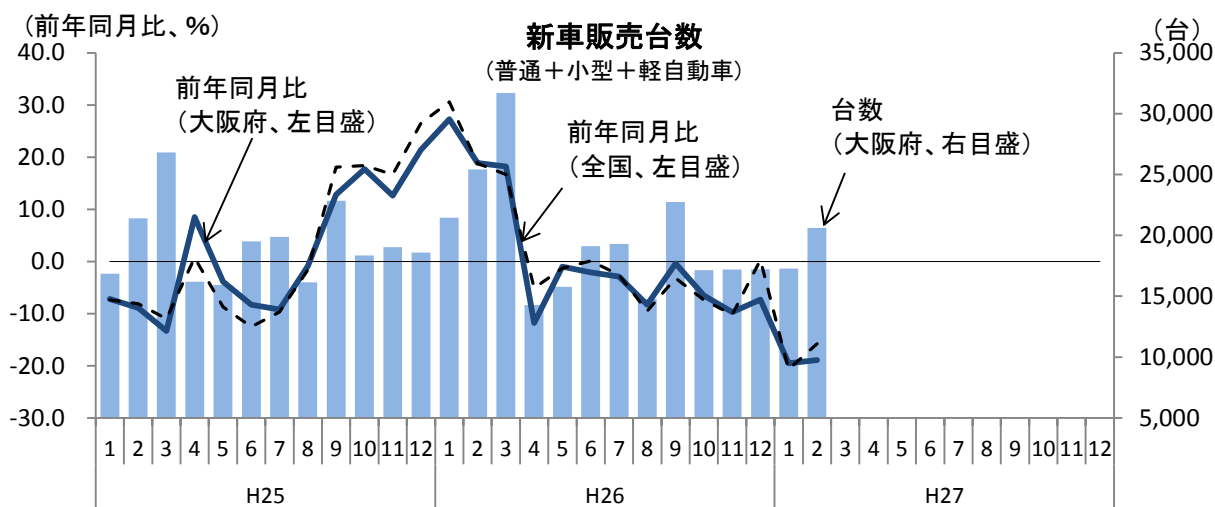


(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

		26年12月	27年1月	2月
前年比 (%)	近畿	▲12.3	▲19.0	
	全国	▲11.8	▲19.1	

商品別の主な増減(近畿、27年1月)
「携帯電話」等が前年を上回ったものの、「パソコン(本体)」、「エアコン」等が前年を下回った。

○新車販売台数【前年同月比で11ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

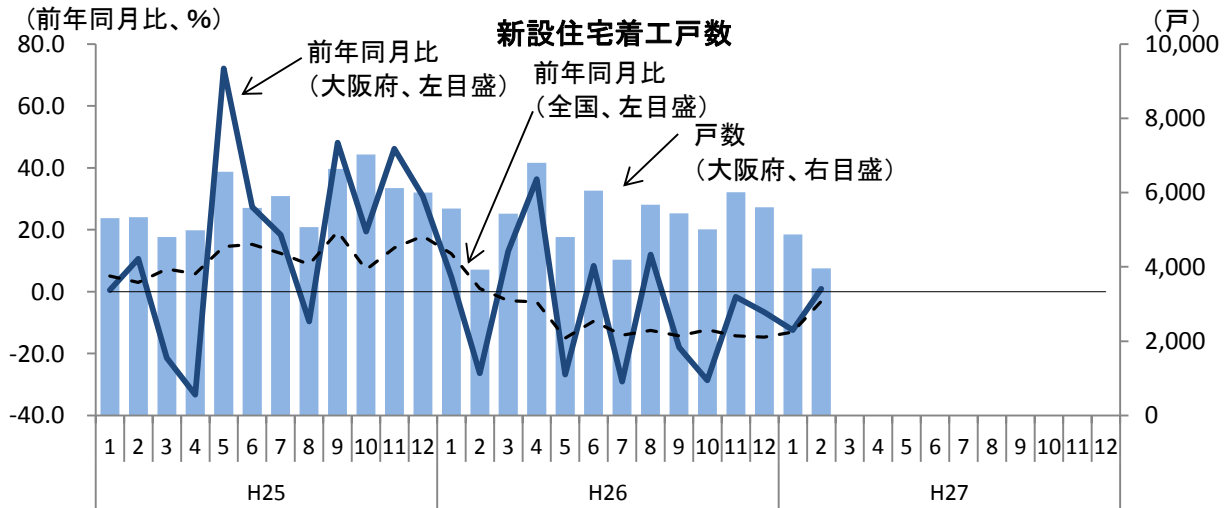
		26年12月	27年1月	2月
販売額(台)	大阪府	17,234	17,270	20,612
前年比 (%)	大阪府	▲7.3	▲19.5	▲18.9
	全国	0.3	▲20.7	▲15.8

車種別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、2月)		
普通車	小型車	軽自動車
▲24.8	▲12.1	▲18.2

[需要] 投資

投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少した。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で6ヶ月ぶりの増加。】

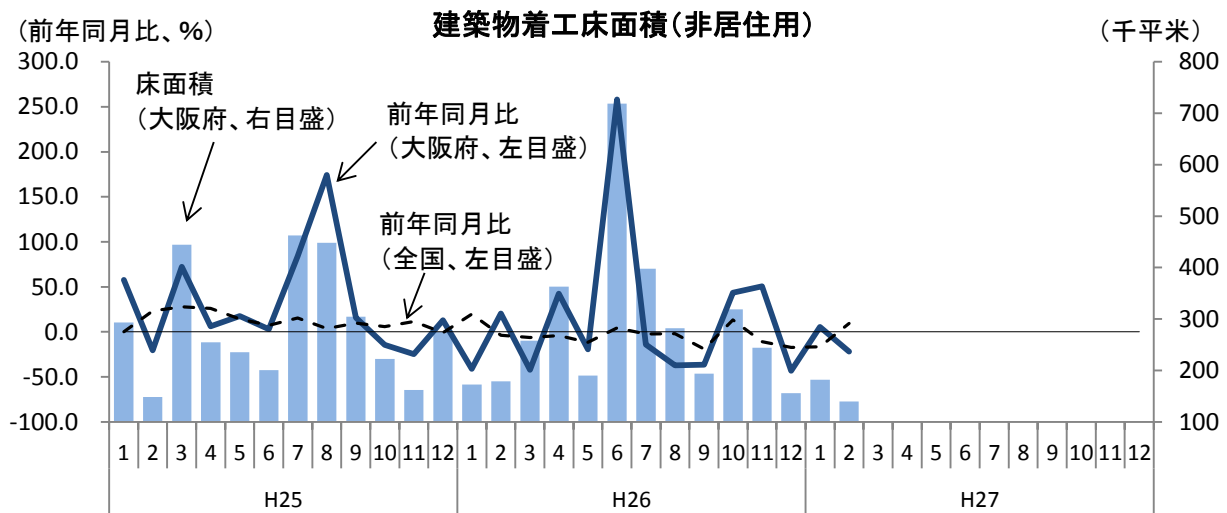


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		26年12月	27年1月	2月
戸数	大阪府	5,605	4,877	3,961
前年比 (%)	大阪府	▲6.6	▲12.4	0.9
	全国	▲14.7	▲13.0	▲3.1

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 2月)		
持家	貸家	分譲
0.3	▲7.1	9.0

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

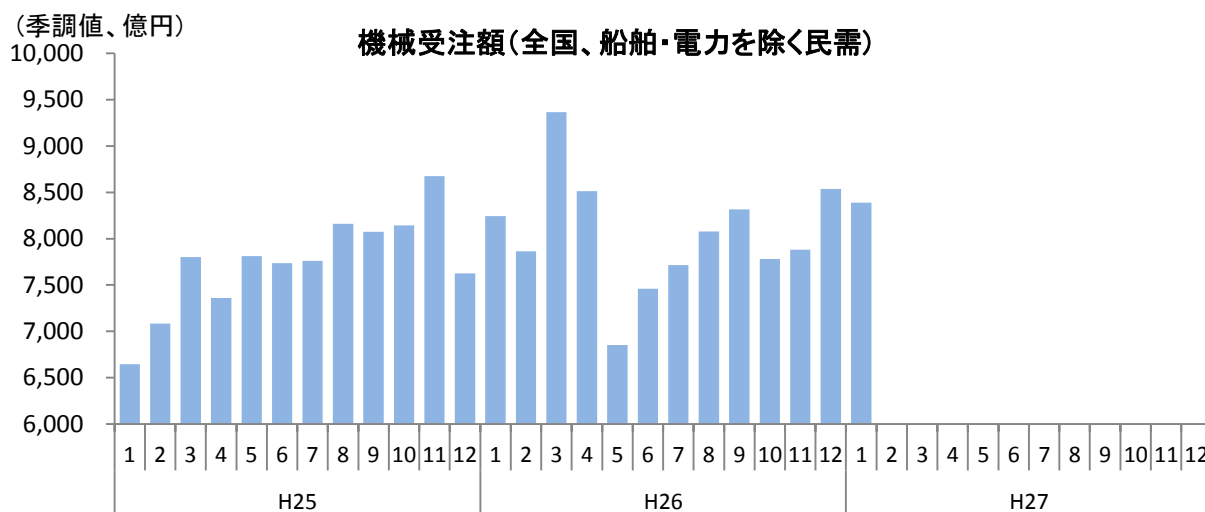
		26年12月	27年1月	2月
千 m ²	大阪府	244	156	140
前年比 (%)	大阪府	▲43.1	5.3	▲21.9
	全国	▲17.3	▲16.4	9.4

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 2月)	
増加	医療、福祉(16.4)
減少	教育、学習支援業(▲19.9)
	運輸業(▲8.3)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

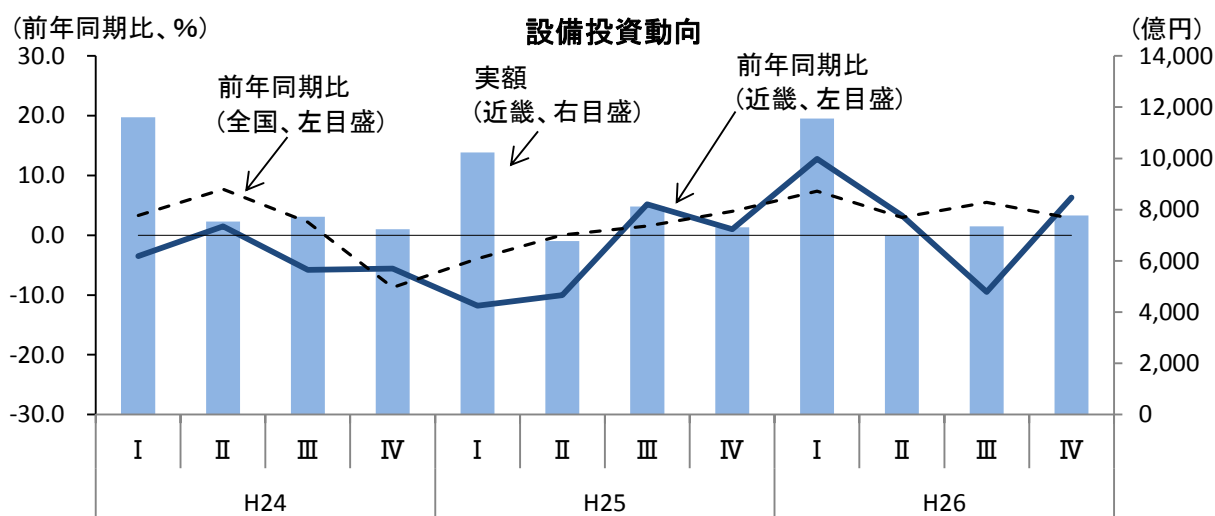
○機械受注額【1月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	26年12月	27年1月	2月
全国(億円)	8,536	8,389	

○設備投資動向【10~9月期(近畿)は前年同期比で増加。「製造業」は増加、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		26年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,001	7,351	7,768
前年同期比 (%)	近畿	3.3	▲9.5	6.3
	全国	3.0	5.5	2.8

○公共工事請負金額【4ヶ月連続の減少。】

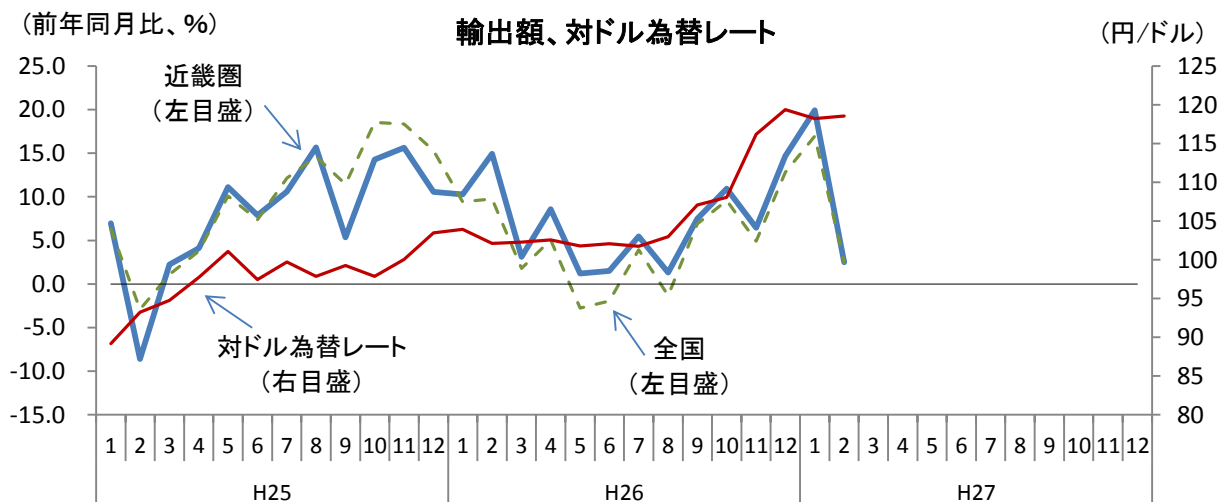
		26年12月	27年1月	2月
億円	大阪府	285	171	152
前年比 (%)	大阪府	▲37.8	▲25.3	▲31.6
	全国	1.0	▲13.7	2.3

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・貨物

輸出は、緩やかに改善している。輸出額は24ヶ月連続で増加。主要国向けでは、アジア、EU、アメリカ向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの増加。取扱貨物量は、関空で増加。

○輸出額【24ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「通信機」などが増加。主要国・地域向けでは、アジア、EU、アメリカ向けで増加。】



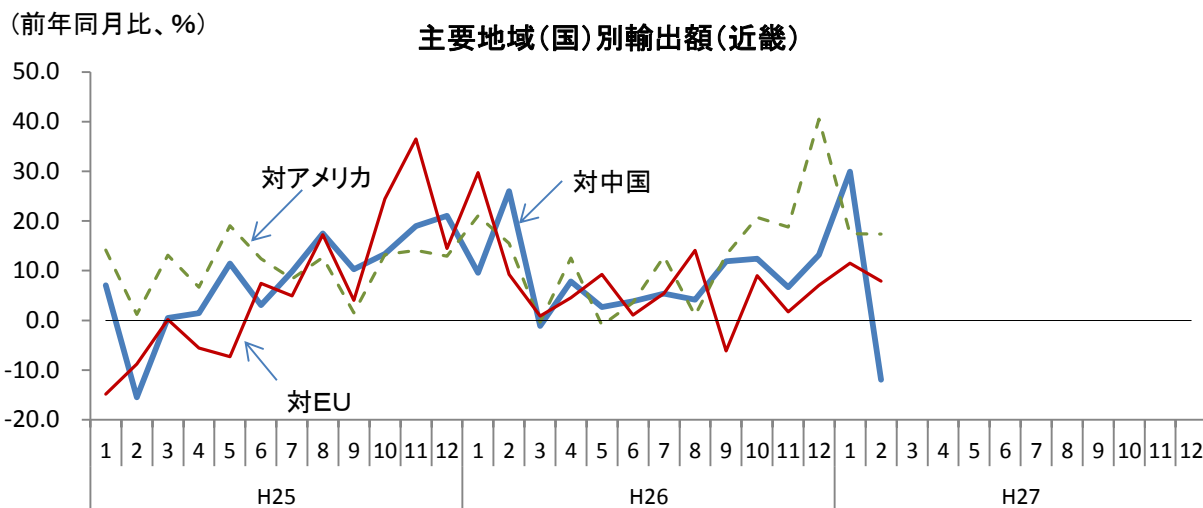
(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		26年12月	27年1月	2月
輸出額(億円)	近畿	15,007	13,048	P 12,425
前年比 (%)	近畿	14.7	20.0	P 2.5
	全国	12.8	17.0	P 2.4
為替レート(円/ドル)		119.40	118.24	118.57

品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、2月)

増加	半導体等電子部品、通信機
減少	有機化合物、鉱物性燃料



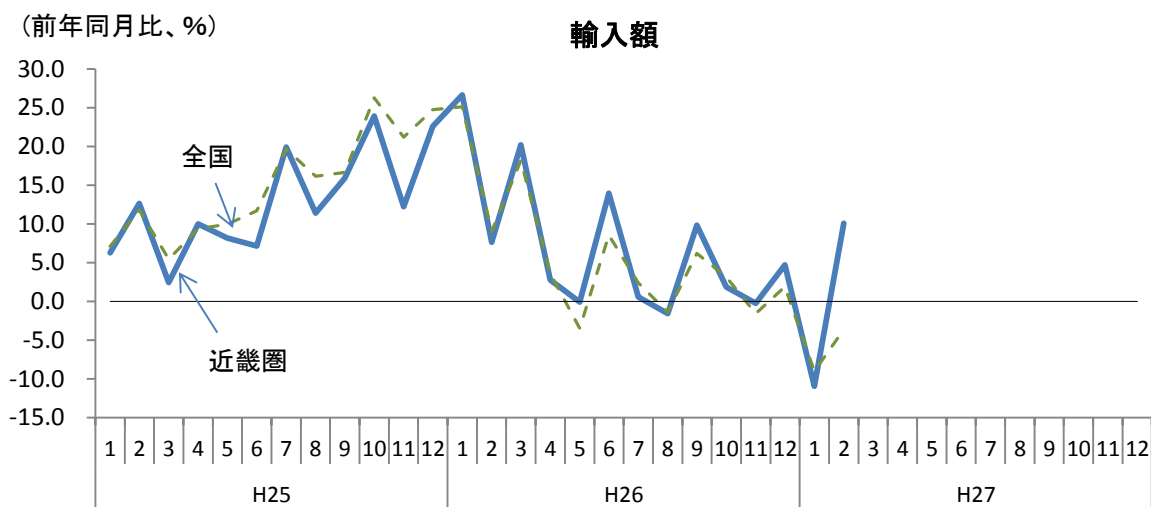
(資料) 大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、2月)

アジア(含む中国)	0.1	6ヶ月連続の増加
中国	▲12.0	11ヶ月ぶりの減少
EU	7.9	5ヶ月連続の増加
アメリカ	17.3	9ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・貨物

○輸入額【2ヶ月ぶりの増加。「衣類及び同付属品」、「半導体等製造装置」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		26年12月	27年1月	2月
輸入額(億円)	近畿	14,505	P 13,805	P 12,786
前年比 (%)	近畿	4.7	P ▲10.9	P 10.1
	全国	1.9	P ▲9.0	P ▲3.6

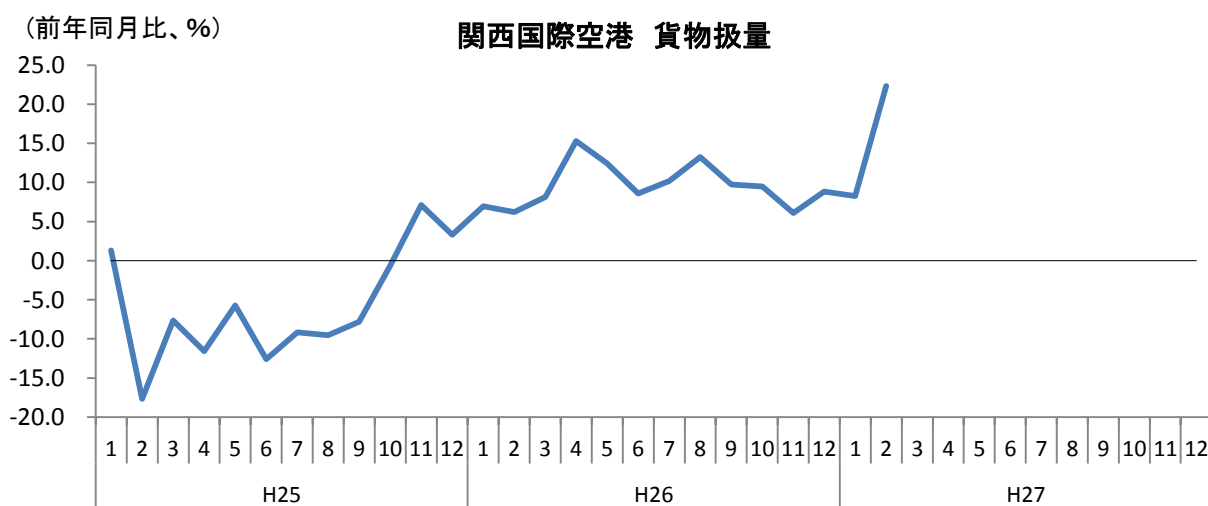
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、2月)

増加	衣類及び同付属品、半導体等製造装置
減少	原油及び粗油、石油製品

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、2月)

アジア(含む中国)	22.0	2ヶ月ぶりの増加
中国	46.1	2ヶ月ぶりの増加
EU	5.0	4ヶ月ぶりの増加
アメリカ	27.4	2ヶ月ぶりの増加

○関空取扱貨物量【16ヶ月連続の増加】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

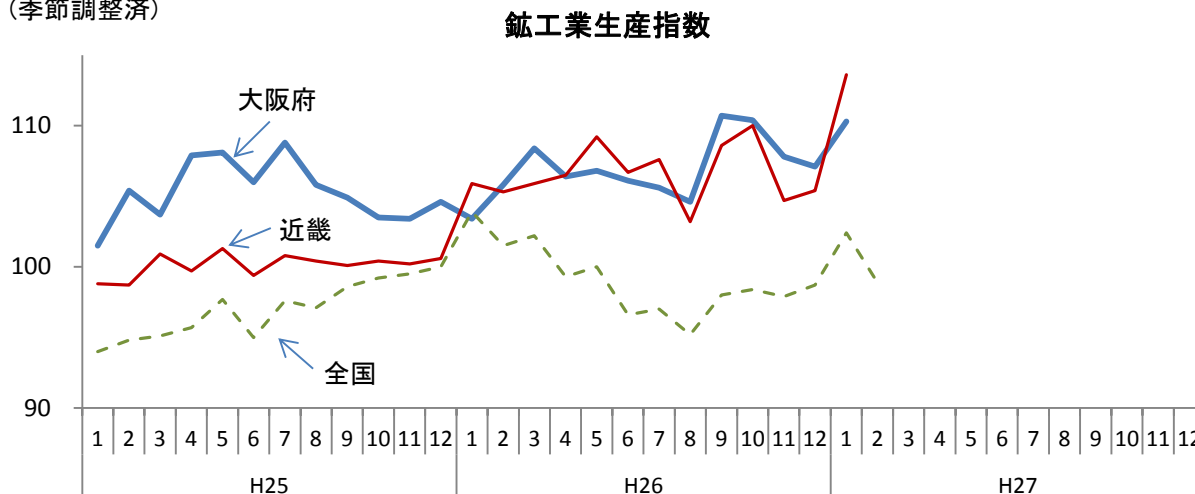
	26年12月	27年1月	2月
千トン	66.1	P 56.4	P 59.5
前年比(%)	8.8	P 8.3	P 22.3

[供給] 生産

生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(1月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(1月)は上昇、全国の生産(2月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫増局面。

○**鉱工業生産指数【大阪府(1月)は4ヶ月ぶりの上昇。「はん用・生産用・業務用機械」、「金属製品」などが上昇。近畿(1月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。全国(2月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。】**

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。H22=100。

産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、27年1月速報)

季調済	26年12月	27年1月	2月
大阪府	107.1	P 110.3	
近畿	105.4	113.6	
全国	98.7	102.4	P 98.9

上昇	はん用・生産用・業務用機械(12.3):フラットパネル・ディスプレイ製造装置 金属製品(18.3):橋りょう、飲料用アルミニウム缶 化学(5.2):化粧品、合成洗剤
低下	その他(▲10.3):平版印刷(オフセット印刷)、おう版印刷(グラビア印刷) 電子部品・デバイス(▲6.2):液晶素子 輸送機械(▲4.4):シャシー・車体部品、鉄道車両

○**鉱工業出荷指数【大阪府(1月)は4ヶ月ぶりの上昇。「はん用・生産用・業務用機械」、「化学」などが上昇。近畿(1月)は2ヶ月連続の上昇。全国(2月)は3ヶ月ぶりの低下。】**

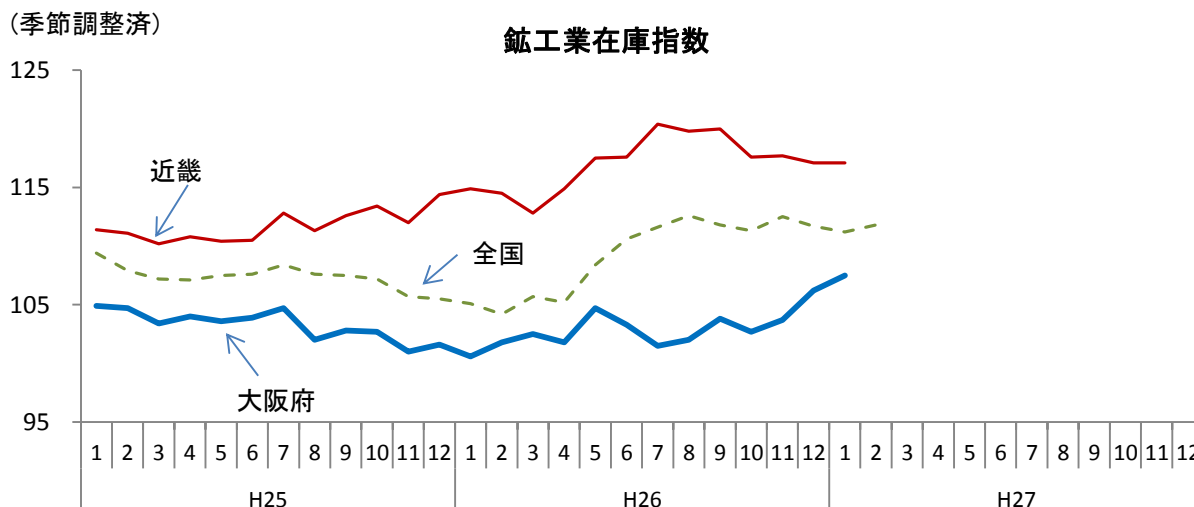
季調済	26年12月	27年1月	2月
大阪府	97.2	P 101.9	
近畿	102.9	110.4	
全国	98.2	103.7	P 100.2

(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。H22=100。

[供給] 生産

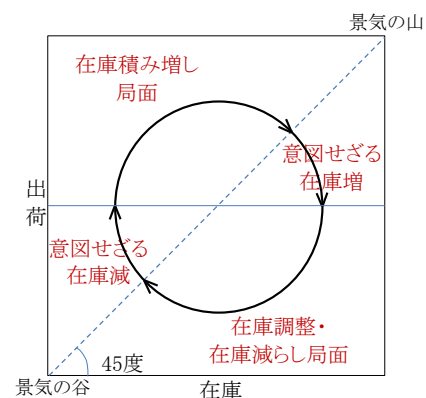
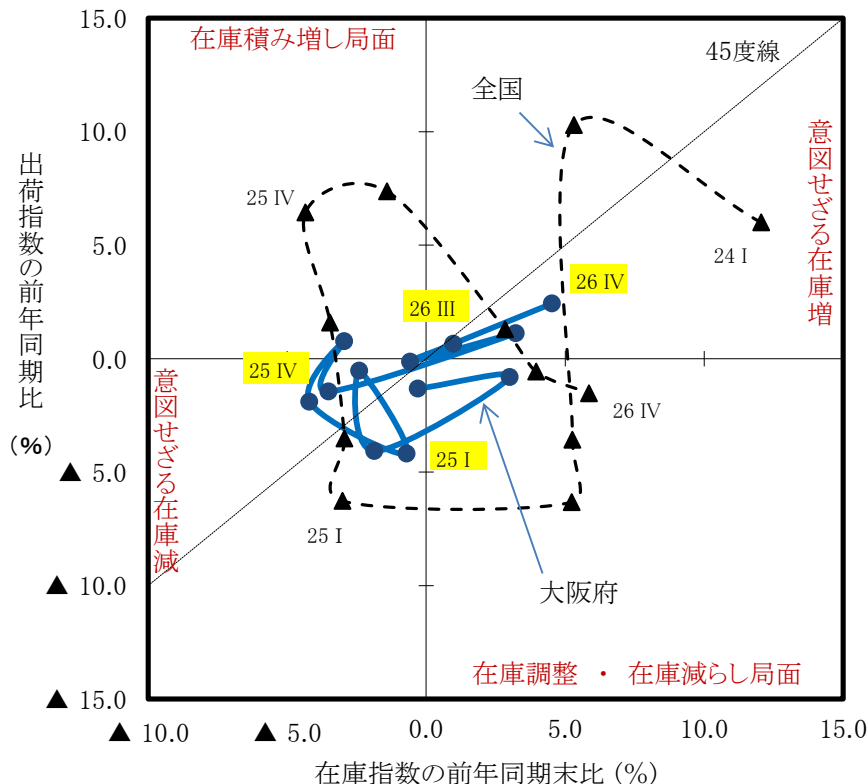
○**鉱工業在庫指数【大阪府(1月)は3ヶ月連続の上昇。「(旧)電気機械」、「金属製品」などが上昇。近畿(1月)は横ばい。全国(2月)は3ヶ月ぶりの上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	26年12月	27年1月	2月
大阪府	106.2	P 107.5	
近畿	117.1	117.1	
全国	111.7	111.2	P 111.8

○**在庫循環図【大阪府は意図せざる在庫増局面。全国は在庫調整・在庫減らし局面。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。

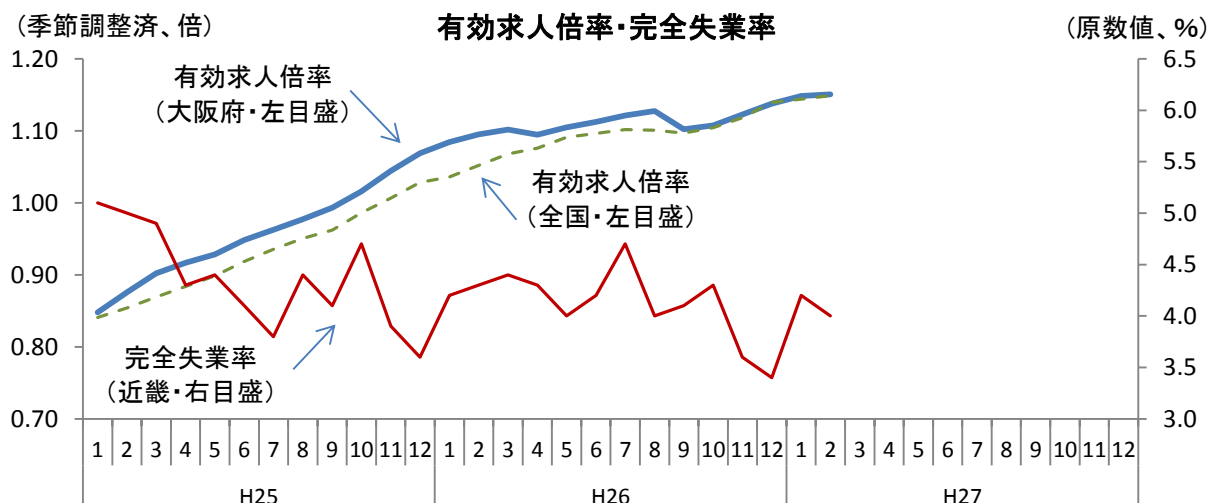
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

[供給] 雇用・倒産

雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(1月)は減少。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。

○完全失業率【近畿は前年同月差で2ヶ月ぶりの低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は11ヶ月ぶりの横ばい】、新規求人倍率【大阪は5ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	26年12月	27年1月	2月
%	3.4	4.2	4.0
前年同月差	▲0.2	0.0	▲0.3

完全失業率(全国、季節調整値)

	26年12月	27年1月	2月
%	3.4	3.6	3.5
前月差	▲0.1	0.2	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率 (原数値、%)

	26年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	4.8	4.2	4.3
近畿	4.2	4.2	3.7
全国	3.7	3.6	3.3

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	26年12月	27年1月	2月
大阪府	1.14	1.15	1.15
全国	1.14	1.14	1.15

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	26年12月	27年1月	2月
大阪府	1.83	1.88	1.80
全国	1.77	1.77	1.63

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

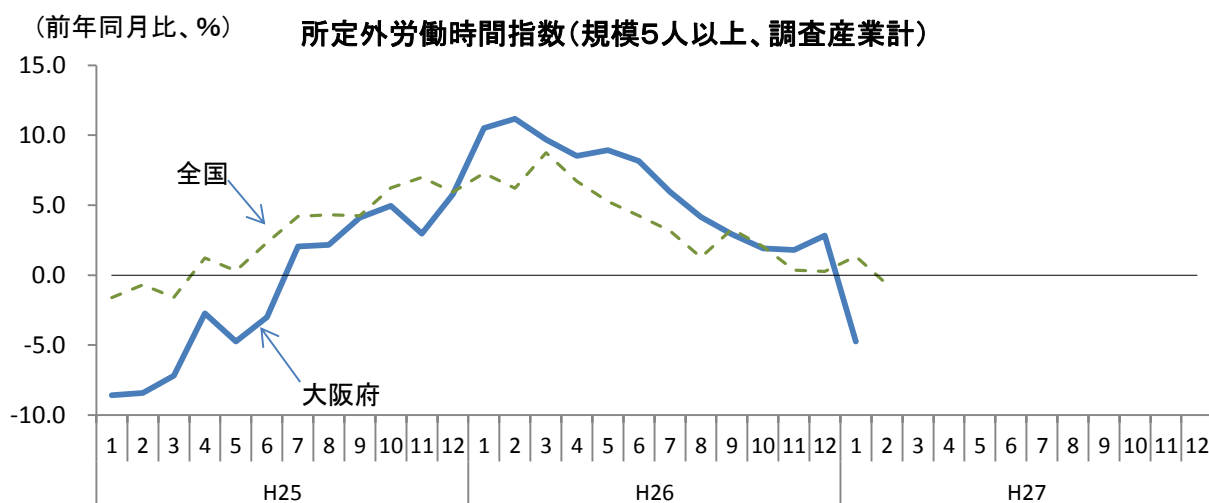
新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

	26年12月	27年1月	2月
産業計	0.5	0.7	▲4.1
建設業	▲6.7	▲13.5	▲14.0
製造業	13.3	0.7	▲2.7
卸売業、小売業	6.1	5.5	2.5
宿泊業、飲食サービス業	▲3.3	8.9	2.0
医療、福祉	16.8	15.0	13.3

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」
※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用・倒産

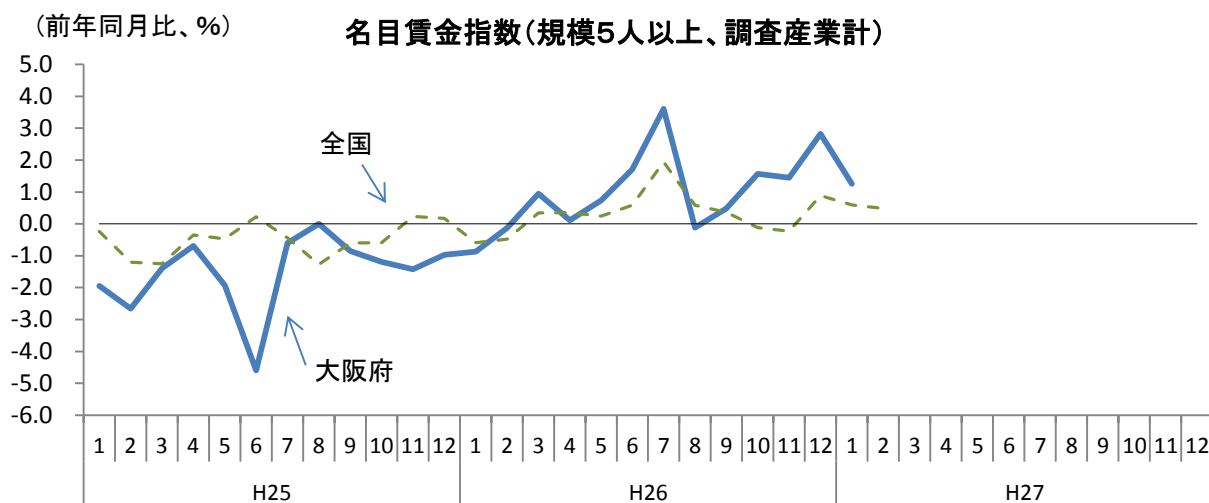
○所定外労働時間指数【大阪府(1月)は19ヶ月ぶりの減少。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		26年12月	27年1月	2月
指数	大阪府	116.7	104.2	
前年比 (%)	大阪府	2.8	▲4.8	
	全国	0.3	1.3	P ▲1.7

○名目賃金指数【大阪府(1月)は5ヶ月連続の増加。】



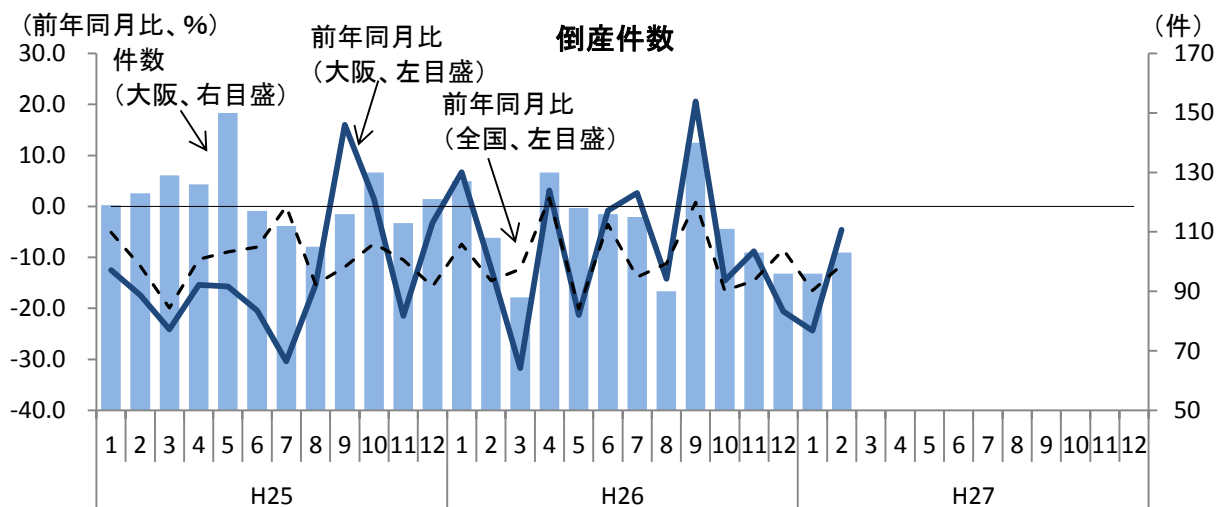
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		26年12月	27年1月	2月
現金給与総額(円)	大阪府	605,016	274,701	
前年比 (%)	大阪府	2.8	1.3	
	全国	0.9	0.6	P 0.5

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

[供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は前年同月比で5ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で7ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		26年12月	27年1月	2月
件	大阪府	96	96	103
前年比 (%)	大阪府	▲20.6	▲24.4	▲4.6
	全国	▲8.5	▲16.5	▲11.5

負債金額

		26年12月	27年1月	2月
億円	大阪府	163	63	129
前年比 (%)	大阪府	▲6.0	▲52.7	23.2
	全国	32.6	▲46.6	30.1

主要業種の倒産件数(大阪府)

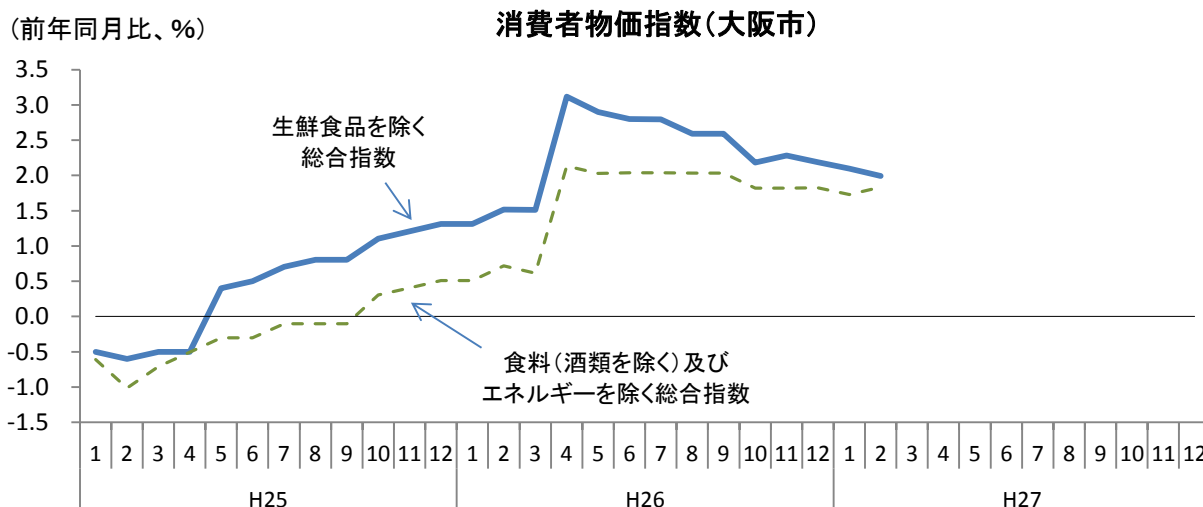
	26年12月	27年1月	2月
建設業	19	21	14
製造業	14	13	20
卸売業	19	22	13
小売業	7	9	15
サービス業	29	21	27

主な倒産(大阪府、2月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
化合繊維物企画販売	2,000	既往のしわ寄せ
ゲームセンター経営	1,500	販売不振
ビジネスホテル経営	1,370	過小資本
居酒屋経営	1,200	既往のしわ寄せ
婦人服企画製造販売	1,153	販売不振
駐車場設備機器の販売施工	550	過小資本

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は22ヶ月連続で上昇。「食料」、「光熱・水道」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は17ヶ月連続で上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

総合指数(H22=100)

		26年12月	27年1月	2月
指数	大阪市	102.6	102.6	P 102.5
前年比 (%)	大阪市	1.8	2.1	P 2.1
	全国	2.4	2.4	2.2

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		26年12月	27年1月	2月
指数	大阪市	102.7	102.3	P 102.3
前年比 (%)	大阪市	2.2	2.1	P 2.0
	全国	2.5	2.2	2.0

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

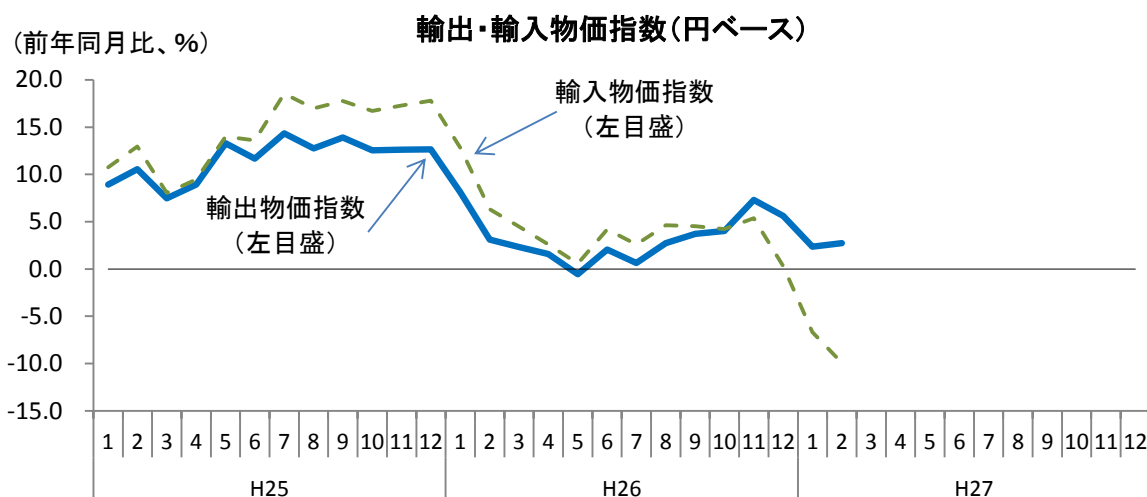
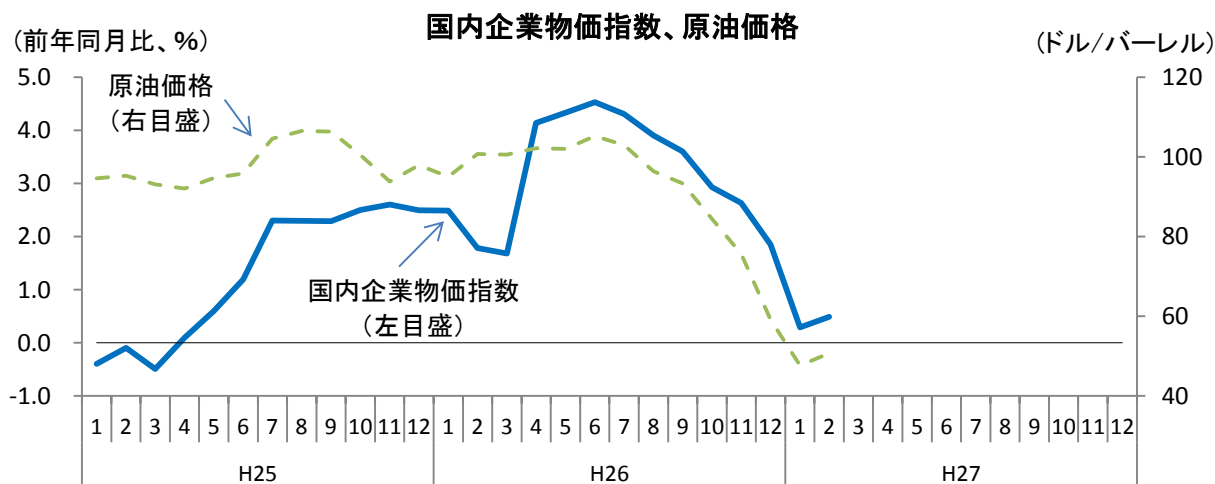
		26年12月	27年1月	2月
指数	大阪市	100.4	99.9	P 100.0
前年比 (%)	大阪市	1.9	1.8	P 1.8
	全国	2.1	2.1	2.0

総合指数において主に変動した分類 (大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、2月速報)

上昇	食料(2.5): 果物(レモン、オレンジ、いちご)、菓子類(まんじゅう、だいふく餅、落花生)
	光熱・水道(5.3): ガス代(都市ガス代)、電気代(電気代)
	教養娯楽(3.7): 教養娯楽サービス(写真プリント代、放送受信料(ケーブル)、宿泊料)、教養娯楽用品(ペットフード(ドッグフード))
低下	—

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数と輸出物価指数は上昇、輸入物価指数は低下。原油価格は上昇。】



(資料)日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」
 ※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数

	26年12月	27年1月	2月
国内企業物価指数	104.7	103.3	P 103.3
輸出物価指数	116.6	113.3	P 112.2
輸入物価指数	129.4	121.5	P 115.1

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。H22=100。

原油価格 (WT1)

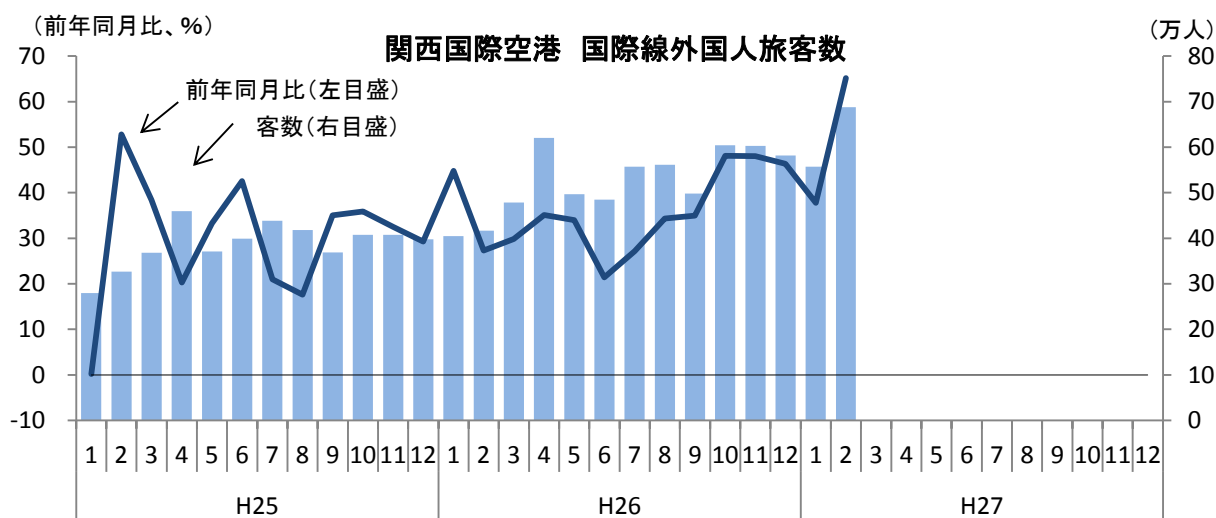
	26年12月	27年1月	2月
ドル/バーレル	59.10	47.60	50.72

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(2月速報、寄与度(%))

農林水産物 (0.07) :
豚肉、鶏卵、牛肉
電力・都市ガス・水道 (0.06) : 産業用特別高 圧電力、大口都市ガス、業務用高圧電力
石油・石炭製品 (▲0.06) :
ジェット燃料油、液化石油ガス、軽油
非鉄金属 (▲0.05) :
銅地金、アルミニウム合金・同二次合金地 金、銅条

[その他] 観光

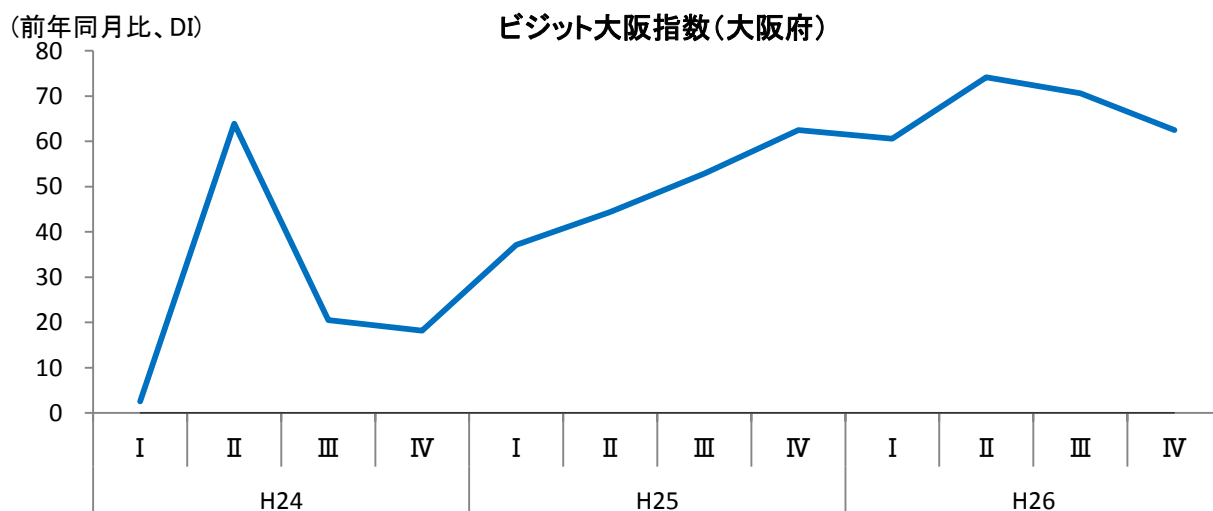
○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で36ヶ月連続の増加。】



(資料) 新関西国際空港(株)「運営概況」

	26年12月	27年1月	2月
万人	58.2	P 55.7	P 68.8
前年比(%)	46.3	P 37.8	P 65.2

○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、10～12月期は低下。】



(資料) 大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%) - 「不調」の割合(%)。

	26年 4～6月	7～9月	10～12月
業況判断 DI (前年同期比)	74.2	70.6	62.5